

## 令和4年度 国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「新 言語文化」 (三省堂)						
副教材等	新国語総合ガイド五訂版 (京都書房) 常用漢字ダブルクリア四訂版 (尚文出版)						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協同で考える活動を行います。
- 現代の様々な文章を「読む能力」に加え、自己の思考を表現するための「話す聞く能力」や、「書く能力」の基礎的な部分を身に付けます。
- 授業ノートは、黒板を写すだけではなく、自分で気づいたことや、ひとの発言内容もメモしていきましょう。
- 家庭学習の課題は、定期的に提出してもらいます。
- 定期考査は、年に5回あります。計画的に学習に取り組みましょう。

## 2 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようとする。
- 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。
- 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

※令和4年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	入門  [教材] 千年の時が与えてくれる安堵	a:・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[ 読 ]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解したり、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	読書の意義について考える  [教材] ゴール 枕草子 春はあけぼの／ありがたきもの 故事二編 虎の威を借りる／朝三暮四	a: 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的な背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[ 読 ]: 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的な背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	構成や展開について考える  [教材] 羅生門 沙石集 児の飴食ひたること 説苑 景公之馬	a:常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 b[ 読／書 ]:自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c:常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
2	言語文化の継承と創造について考える  [教材] 野焼 和歌十首 小倉百人一首より 短歌七首 近代・現代の短歌 伊勢物語 芥川／筒井筒	a:本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b[ 読 ]:作品や文章の成立した作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:本歌取りや見立てなどの我が本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解したり、作品や文章の成立した背景や他の	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

		作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。			
	人物像や心情について考える	a: 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[ 読／書 ]: 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c: 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解したり、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	[教材] オムライス 十八史略 鶴口牛後／先従隗始 平家物語 木曾の最期				
	言語文化の交流について考える	a: 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[ 読 ]: 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c: 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解したり、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
3	世界に対する認識のあり方について考える	a: 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的な背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[ ]: 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 c: 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的な背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	[教材] なめとこ山の熊 徒然草 神無月のころ／家居のつきづきしく 論語八章				
	言語文化と自分とのつながりについて考える	a: 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[ 読／書 ]: 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c: 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解したり、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト 小テスト	ワークシート 定期テスト ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	[教材] 夢十夜 第一夜 土佐日記 門出				

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[ 話／聞、書、読 ]のどれか一つを記入して下さい。

※令和4年度以降入学生用

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … ( ) 時間
- ・書くこと … ( 1 0 ) 時間
- ・読むこと … ( 6 0 ) 時間